

新規就農具体的実践事例

●「地域連携の有機農農業を創造・山梨県北杜市(株)ファーマン・井上農場」[FARMAN](#)

「地域連携の有機農農業を創造・山梨県北杜市(株)ファーマン・井上農場」 井上能孝さん。野菜の栽培と加工商品開発や販売。学校や企業の農業体験、グランピングを使った農村観光の受け入れ、農福連携、廃校活用のボルダリングや宿泊施設の運営など町全体の経済と持続社会に繋がる事業となっている。



👉 パート1



👉 パート2

●～有機農業と生物多様性の里山再生に取り組む石坂産業脱炭素への取組 その1、その2～

遊休農地を落ち葉堆肥の有機農業で復活

●埼玉県入間郡三芳町上富に、農業法人「(株)石坂オーガニックファーム」を立ちあげ約 2・3haで有機農業を行いながら、江戸期に生まれた東京ドーム4個分の広さの里山を地権者と三芳町とともに連携し「三富今昔村」(さんとめこんじゃくむら)として名付けた環境教育フィールドとして再生させたのは、産業廃棄物中間処理業を運営する石坂産業株式会社(石坂典子代表取締役)だ。

続きは<<https://enekei.jp/mmc/mailmagavol236-4.html>>こちらからお読みください。

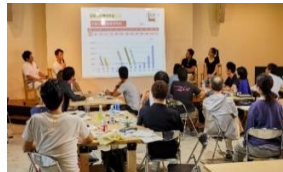


続きは QR コードから



その2

●2023年7月号「練馬区の都市農業と若者の新規就農と起業支援」 8月号「道の駅 ましこ」



都市農業を牽引する東京都練馬区の農業体験農園 (その1 その2 その3)



- 新規就農者70名が参加愛知県名古屋市「オーガニック朝市」



[オーガニックファーマーズ名古屋](#)

- 埼玉県さいたま市「さいたまヨーロッパ野菜研究会」
レストランの欲しい野菜を農家・JA・市などで連携・新規就農者が栽培



[さいたまヨーロッパ野菜研究会 - 公式](#)

- 愛媛県今治市「さいさいきて屋」直売所のトップモデル



[さいさいきて屋 - JA おちいまぼりグループ](#)

- 農業・体験・宿泊などを組み合わせ三重県伊賀市「もくもく手づくりファーム」



[伊賀の里モクモク手づくりファーム](#)

1・農業は新しいイノベーションへの支援予算が組まれている

農林水産省予算には農業・観光・体験・古民家活用・ツーリングなど地域全体で経済を作る「農山漁村振興交付金」という予算がある。 [r7yokyu_pr66.pdf](#)

66 農山漁村振興交付金

【令和7年度予算概算要求額 10,388 (8,389) 百万円】

<対策のポイント>
 少子高齢化・人口減少が進む農山漁村において、「しごと」「くらし」「活力」「土地利用」の観点から農村振興施策を総合的に推進することにより、関係人口の創出・拡大を図るとともに、農林水産業に関わる地域のコミュニティの維持と農山漁村の活性化及び自立化を後押しします。

<政策目標>
 都市と農山漁村の交流人口の増加（1,540万人〔令和7年度まで〕）等

<事業の全体像>

<p>地域資源活用価値創出対策 (旧 農山漁村イノベーション対策)</p> <p>しごと 活力</p> <p>地域資源活用価値創出推進事業</p> <p>地域活性化のための活動計画づくりや農山漁村の地域資源を活用し、新たな価値を創出する取組等を支援します。</p> <p>地域資源活用価値創出整備事業</p> <p>農山漁村の地域資源を活用し、新たな価値を創出する施設整備を支援します。</p>	<p>地域活性化型</p> <p>創出支援型</p> <p>農泊推進型</p> <p>農福連携型</p>	<p>都市農業機能発揮対策 活力</p> <p>都市農業への関心の喚起や多様な機能の発揮に資する取組を支援します。</p> <p>都市部</p> <p>農山漁村地域</p> <p>情報通信環境整備対策 しごと くらし</p> <p>IT管理やスマート農業等に必要の情報通信環境の整備を支援します。</p> <p>通信施設の整備</p>	<p>コミュニティの維持と農山漁村の活性化・自立化</p> 
<p>中山間地農業推進対策 くらし 活力</p> <p>農村振興MOの形成推進、収益向上や販売力強化等に関する取組、デジタル技術の導入・定着、種苗地産連携を支援します。</p> <p>農村RMOによる生活支援 高収益作物の導入 栽培技術のeラーニング</p>	<p>最適土地利用総合対策 土地利用</p> <p>地域における土地利用構想の作成から実現までの取組を総合的に支援します。</p> <p>土地利用構想の作成 農地の相放利用</p>	<p>山村活性化対策 活力</p> <p>振興山村での地域資源を用いた地域経済の活性化の取組を支援します。</p> <p>山菜を利用した商品開発</p>	

【お問い合わせ先】 農村振興局農村計画課 (03-6744-2493)

2・農林水産省の予算は多様な予算が組まれている。

[令和7年度農林水産予算概算決定の概要：農林水産省](#)

令和7年度農林水産関係予算の概要

食料・農業・農村基本法の改正を踏まえ、食料安全保障の強化、環境と調和のとれた食料システムの確立、農業の持続的な発展、農村の振興等を図るため、農業の構造転換の実現に向けた施策を初動の5年間で集中的に実行するとともに、農林水産業の持続可能な成長を推進

総額 2兆2,706億円 (2兆2,686億円)

※ () 内は令和6年度当初予算額



3・国の手厚い支援制度があり 研修から独立まで支援金がある。農業を準備する都道府県の農業大学校や先進地の農家での研修に支援金がある。年間150万円。最長2年。独立した場合経営資金が年間150万円。最長3年。(49歳以下が対象)

https://www.maff.go.jp/j/new_farmer/n_syunou/roudou.html

新規就農者育成総合対策のうち
就農準備資金・経営開始資金 [令和6年度予算額 12,124 (10,603) 百万円の内数]

<対策のポイント>
次世代を担う農業者となることを志向する49歳以下の者に対し、就農準備段階や経営開始時の早期の経営確立を支援する資金を交付します。

<事業目標>
40代以下の農業従事者の拡大

<事業の内容>

就農準備資金

就農に向けて必要な技術等を習得する研修期間中の研修生に資金を交付
交付対象者：就農予定時に49歳以下の者
交付額：12.5万円/月(150万円/年)^{※1}を最長2年間
交付主体：市町村
・都道府県域の研修機関(農大等)の場合は都道府県等
・全国型教育機関の場合は全国農業委員会ネットワーク機構

<主な交付要件>
1 独立・自営就農^{※1}、雇用就農又は親元就農^{※2}を目指すこと
※1 就農後5年以内に認定新規就農者又は認定継承者になること
※2 就農後5年以内に経営を継承すること(法人の場合は共同経営者になること)ただし、5年以内に経営継承等ができない場合は、独立・自営就農すること
2 都道府県等が認めた研修機関等^{※2}で概ね1年以上かつ概ね年間1,200時間以上研修を受けること
3 常勤の雇用契約を締結していないこと
4 原則、前年の世帯所得が600万円以下であること
5 研修中の怪我等に備えて傷害保険に加入すること
① 適切な研修を行っていない場合等は、交付停止となります。
② 以下の場合は返還となります。
-研修終了後1年以内に49歳以下で就農しなかった場合
-就農後、交付期間の1.5倍(最低2年間)の期間、農業を継続しない場合 等

<事業の流れ>

経営開始資金

次世代を担う農業者となることを目指し、新たに経営を開始する者に資金を交付
交付対象者：独立・自営就農時に49歳以下の者
交付額：12.5万円/月(150万円/年)^{※1}を最長3年間
交付主体：市町村
※市町村は、サポート体制を整備し、サポート計画を策定

<主な交付要件>
1 独立・自営就農する認定新規就農者であること
2 経営開始5年後までに農業で生計が成り立つ実現可能な計画であること
3 経営を継承する場合、新規参入者と同等の経営リスク(新規作物の導入など)を負っていると市町村長に認められること
4 目標地帯又は人・農地プランに位置付けられている、若しくは農地中間管理機構から農地を借り受けていること
5 原則、前年の世帯所得が600万円以下であること
① 以下の場合は、交付停止となります。
-原則、前年の世帯所得が600万円を超えた場合
-適切な経営を行っていない場合 等
② 交付期間終了後、交付期間と同期間以上、同程度の農業を継続しなかった場合等は、返還となります。

注1：支払方法(月毎、半年等)は交付主体による選択制
注2：就農に関するポータルサイト(農業をはじめる.jp)に研修計画等を登録していること

就農準備資金・経営開始資金(PDF: 574KB)



4・各自治体や農業関係法人では、農業を仕事にする相談窓口がある

新規就農の丁寧な「新・農業人ハンドブック」がある。

https://www.maff.go.jp/j/new_farmer/index.html

農業をはじめる.JP

新・農業人ハンドブック2024



5・「新・農業人フェア」という自治体・農業団体などの相談会が開催されている

<https://www.be-farmer.jp/consult/event/>



6・食と健康は連動することから食育が推進されている

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/index.html>



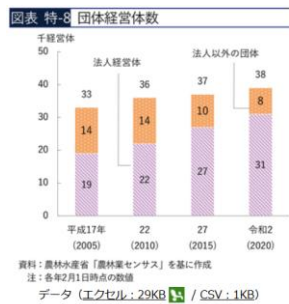
食事バランスガイド拡大図



第2章 農業は法人が増える。直売所や道の駅連携で観光にも繋がる

1・法人経営体の合計は増加傾向。令和 2(2020)年で 63%を占める

https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r3/r3_h/trend/part1/chap1/c1_1_02.html



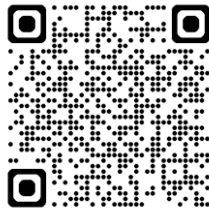
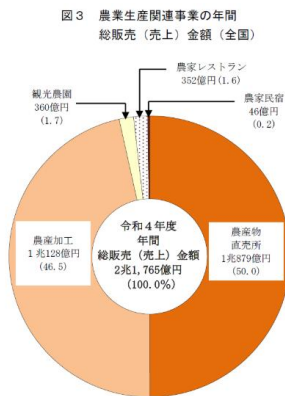
2・農業は起業する・後を継ぐのほかに農業法人に就職する方法がある

- ・農業法人協会での案内と求人情報もされている

<https://hojin.or.jp/information/241218report/>



3・農産物直売所は 1兆879億円で前年度に比べ4.0%増加、農産加工は1兆128億円で前年度に比べ6.2%増加 [令和4年度6次産業化総合調査結果：農林水産省](#)



4・売り先を確保できる農産物直売所が各地で誕生している 全国で直売所が2万3590店

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/rokujika/r4/index.html



写真2 「あいとう直売館」（滋賀県東近江市）
果実産地ながら「足りないものは地域で作ろう」を合言葉に野菜の生産品目を拡大し、市内産100%の売り場を維持している。



5・農家宿泊という観光スタイルもある「農泊推進事業」を農林水産省と観光庁が推進

https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousin/240209_301-8.html

「農泊」の推進について



6・酪農教育ファームという畜産と観光を融合した施設もある

<https://www.dairy.co.jp/edf/>



7・全国の「道の駅」は 1,221 か所。農業や町づくりを連携させたところが好評

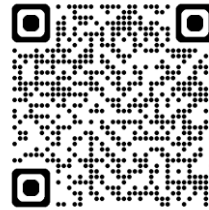
<https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/index.html>



7・農産物直売所ノウハウ連携・学校給食の地産地消を推進

(一財) 都市農山漁村交流活性化機構 (まちむら交流きこう)

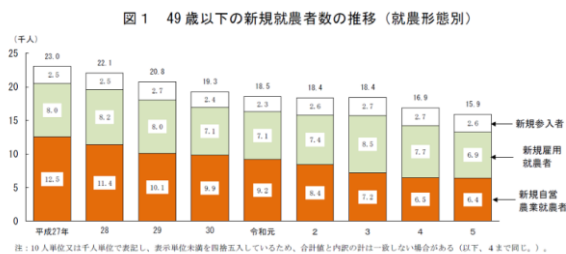
<https://www.kouryu.or.jp/>



第3章 若い人を応援する手厚い支援やお試し制度がたくさんある

1・農業で就農・就職の49歳以下の若い人は毎年約2万名いる

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/sinki/r5/index.html



2・農業お試しの宿泊・食事付きの無料のインターシップ制度がある

<https://www.be-farmer.jp/experience/intern/>

農業インターンシップ

農業インターンシップとは



3・手ぶらで参加できる東京都内で野菜づくりを学ぶ体験農園がある

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kankomoyoshi/nogyo/hureai/taikennoen.html>



4・東京都練馬区では体験から上級コースで農業を学ぶ学校がある

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kankomoyoshi/nogyo/hureai/nounogakkou.htm>



5・東京都でも「東京都農業会議」という手厚い新規就農支援がある

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/nougyou/shuunou/shuunousien>



6・農業体験・イベント・ワーキングホリデーなどお試し宿泊などがある農業で仕事をする、

アルバイトをするネットワークがある 農業求人サイト「あくグリーン」

<https://www.agreen.jp/contents/about.php>

農業求人サイト
農家のおしごとナビ

0120-992-955
24時間受付
お問い合せ
登録済みの方はこちら
ログインする

求人検索する
自治体の就農支援情報を見る
はじめての方はこちら

あなたの時間、太陽とすごしませんか？

株式会社高尾牧場
阿蘇山の麓にある、牛を大切にしている牧場で酪農しませんか？

農業法人深作農園有限公司
【農業スタッフ】【事務スタッフ】【洋菓子・農家カフェスタッフ】複数職種で人材募集！目指すは『喜び・笑顔を創造できる農園』

本気の「農業体験」始めてみませんか？
詳しくはこちら▶

7・全国の自治体には農業の基礎を教えてくれる農業大学校があり基礎を学べる。
年間150万円の支援制度がある。

https://www.maff.go.jp/j/keiei/nougyou_jinzaiikusei_kakuho/kyoiku_syoukai.html



第4章 農業に限らず地方で暮らす支援事業がある

1. 「ふるさと回帰支援センター」という45道府県の移住相談窓口がある

<https://www.furusatokaiki.net/>



2. 移住支援が各県市町村で充実。移住支援金・子育て支援・起業支援金などもある。

https://www.iju-join.jp/support_search/index.html



3. 農業に限らず産官学金融連携の起業を支援する塾を開催している自治体もある

高知県「ココブラ」 <https://www.kocopla.jp/> (左)

和歌山県田辺市「たなべ未来創造塾」 <https://tanabe.miraisouzoujuku.com/> (右)



4・2014年「地方創生法」が制定。全国自治体で「まち・ひと・しごと・総合戦略」を策定し推進。移住・起業・子育てなどを支援。どの自治体もホームページに掲載されている。

https://www.kantei.go.jp/jp/headline/chihou_sousei/pdf/siryoul.pdf

地方創生 | 政策 | 事例・分析 | 報道 | 検索 | 印刷 | 共有

地方創生・まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」「総合戦略」「基本方針」

まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」「総合戦略」「基本方針」

人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指します。

人口減少を克服し、将来にわたって成長力を確保し、「活力ある日本社会」を維持するため、

「強く地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」
「地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」
「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」
「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」

という4つの基本目標と

「多様な人材の活躍を推進する」
「新しい時代の流れを力にする」

という2つの横断的な目標に向けた政策を進めています。

5・「地方創生法」と連動し総務省・全自治体連携でノウハウ連携

(一財)地域活性化センターで推進 <https://www.jcrd.jp/>

全国に仲間ができる!

令和7年度 全国地域リーダー養成塾 第37期生 募集中!

地域づくりを早く学べる!

Join us!!

平成元年創設 卒業生 1,196名 (令和4年度末)

地域の未来は変えられる! さあ一歩を踏み出そう!

●YouTube配信●

●古民家・空き家などの新たな活用事例を紹介する連載をしています。



●住生活産業総合情報誌「ハウジングトリビューン」「田舎再生の現場から」連載65

<https://honline.sohjusha.co.jp/>

Housing Tribune 696

2023年10月号 飛躍に向けた新領域

バックナンバー

<https://honline.sohjusha.co.jp/rensai/kanemaru-report/>

名豊塾 特別講演会「地域を元気に 里山の暮らしから観光・経済につなぐ新たな連携」

<https://www.youtube.com/watch?v=-PNJgv5pfU0&t=128s>



講師:金丸弘美 食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー

制作・著作:び〜ぶる放送 (佐賀県唐津市鎮西町「名豊塾」講義より)

●大阪公立大学都市経営研究科 公開シンポジウム(前編)(後編) YouTube配信

「自然な農と食を活かした地域活性化」 <https://youtu.be/VTW-NfgQBQg>



(前編) 東京都練馬区から広がる都市農業、長崎県大村市の新規就農と新たな農村観光

(後編) 富山県立山町の坂口創作さんの新規就農、福井県若狭町の就農起業支援事業他。

●「食育で育む未来の町づくり」YouTube配信 <https://www.youtube.com/watch?v=-ztpU9TX8J8>

(制作:京都府宇治市&「うーちゃんねる」) 写真は高知県中土佐町と豊岡市のコウノトリの稲作



●「地方創生」を支援する国の人材派遣事業。

国の人材派遣事業:金丸弘美は登録されており、国の制度で現地にうかがうことができます。

●総務省の人材派遣事業 総務省地域力創造アドバイザー 地方創生のサポート。

<https://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/>

●内閣官房の伝道師派遣制度 内閣官房地域活性化伝道師 地方創生のサポート。

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/dendoushi/index.html>



👉 総務省



👉 内閣府



👉 金丸弘美ホームページ

●金丸弘美 ホームページ <https://www.kanamaru-jp.com/home/index.php>

●金丸弘美の好評の食と農業からの地域創りの本●

『田舎力～ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』金丸弘美著（NHK出版生活人新書）

上野千鶴子さん、小山薫堂さん推薦。15刷り。有川ひろさん『県庁おもてなし課』、「毎日新聞」

「朝日新聞」他65媒体で紹介。<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=158&a=1>

『実践！ 田舎力 小さくても経済が回る5つの方法』（NHK 新書）

「週刊東洋経済」「月刊ガバナンス」「旅の手帖」「週刊ダイヤモンド」など16媒体で紹介。

<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=191&a=1>

「ゆらしい島のスローライフ」 金丸弘美著（学研）電子書籍版でも絶賛発売中。

絵：唐仁原教久、写真：阿部雄介 小泉武夫氏推薦（作家・発酵学者）

<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=1118&a=1>



●金丸弘美の著作。地域活動の実践例を紹介。



『創造的な食育ワークショップ』（岩波書店）

『地域ブランドを引き出す力』（合同出版）

『美味しい田舎のつくり方：地域の味が、人とつなぎ、地域を耕す』（学芸出版）

『地域の食をブランドにする！ 食のテキストをつくろう』（岩波ブックレット）

『タカラは足元にあり！』（合同出版）



『給食で育つ賢い子ども』（木楽舎）

『里山産業論』（角川書店）

『幸せな田舎のつくりかた』（学芸出版）

『田舎の力が未来をつくるヒト・カネ・コが持続するローカルからの変革』（合同出版）

●「子育て世代のための快適移住マニュアル」金丸知弘著（誠文堂新光社）



👉 金丸弘美書籍一覧 <https://www.kanamaru-jp.com/book/index.php>

●新規就農の女性たちの活動連載が本になりました！

農業と食から持続社会に繋ぐ素敵な女性たちが登場します。

「ニッポンはおいしい！」=食と農から未来は変わる。地域に豊かさをもたらす女性たちの活躍=

金丸弘美著 理工図書出版 四六判 216頁 2,090円(税込) <https://x.gd/gunBM>

★上野千鶴子さん推薦(社会学者・東大名誉教授)「女性がつくる日本農業の未来！」★

「月刊ガバナンス」「クレヨンハウス・クーヨン」「旅行新聞」「月刊 JA」「西日本新聞」「日本農業新聞」「農業共済新聞」

「中小企業家しんぶん」「食料新聞」「週刊金曜日」「ハウジングトリビューン」「味の味」【実践自治 Beacon Authority】

「地域づくり」「月刊学校給食」「月刊 NOSAI」「月刊社会民主」「社会新報」「しんぶん赤旗」「潮」など 33媒体で紹介。



●YouTube 配信 素敵な旅と本との紹介とでYouTube番組で配信されました。

「初めての農家民泊 岐阜県 佐伯農場 ～ニッポンは美味しい 金丸弘美氏に聞く～」

<https://youtu.be/DG8rw3nl6uc> 制作配信:京都市宇治市「うじテレビ」(ディレクター森田誠二さん)



👉 YouTube

★●Women's Action Network(上野千鶴子理事長)農業と食の現場で活躍する女性を紹介。

連載「金丸弘美のニッポンはおいしい！」ここから本が誕生しました

長崎県大村市の山村に年間50万人がやってくる 連載29



👉 バックナンバー

<https://www.kanamaru-jp.com/yotei/yoteidetail.php?&no=768&a=2017>

新規就農の女性活躍を紹介しています。

「ニッポンはおいしい！」=食と農から未来は変わる。域に豊さをもたらす女性たちの活躍」

金丸弘美著（理工図書出版） ISBN978-4-8446-0965-0 定価:2,090 円(税込)

農業と食から持続社会に繋がる活動をしている女性が登場します。

農業書で女性がメインの実践現場レポートの本は、おそらく初めてでしょう。

どの事例もドラマチックで、発想と行動力が、素晴らしいです。ぜひ読んでください。

上野千鶴子さん推薦（社会学者・東大名誉教授）

女性がつくる日本農業の未来！



◎消費者との接点を見出した新たな食と農 愛知県名古屋市：オーガニック朝市・吉野隆子さん/福岡県宗像市：道の駅むなかた「漁師直行超鮮度の魚がならぶ」伊藤美幸さん ◎食と農と体験を離島や農村の観光に繋ぐ山口県周防大島町瀬戸内ジャムズガーデン松嶋智明さん/兵庫県西宮市：Table a Cloth 「おいしい食体験ができる宿」・岡田奈穂子さん ◎海外からの視点と連携を生み出した新たな挑戦 埼玉県秩父：秩父蒸溜所・ブランドアンバサダー吉川由美さん/千葉県いすみ市：高秀牧場「ジェラート店とチーズ工房運営」馬上温香さん ◎持続社会と地域経済に繋ぐ農業 静岡県菊川市：野菜くらぶ「ゼロから農業開始30haの大規模農家へ！塚本佳子さん/神奈川県寒川町：(株)菱和園・お茶が大好き！お茶のよさを届けたい」山田仁子さん ◎地域の食と環境の豊さを人々に繋ぐ 山形県米沢市：野菜農園笑伝 EDEN 子供の明るい未来を創る農業をしたい我妻飛鳥さん/リベラルファーム米沢ブランド米沢牛を支えるお母さん鈴木純子さん ◎都市の農業での新たな挑戦 埼玉県さいたま市・さいたまヨーロッパ野菜研究会福田裕子さん/東京都日野市：株式会社ネイバーズファーム・都市農業の魅力を広げていきたい 梅村桂さん